

《文しょうもんだい 4》

文しょうもんだいを やって みよう。こたえを 文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文しょうを よんで、といに こたえよう。

よるに なって おとうさんが かえって きました。おとうさんは、

「とちゅうで [ ] と 雨が ふって きたよ。」  
と いいました。

雨が ふって きたと きいて、ぼくは てるてるぼうずを つくる ことに しました。

あしたは えんそくです。どうか はれますように。

(1) □に 入る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア ぽつぽつ
- イ しんしん
- ウ ひゅうひゅう

(2) あしたは なにが ありますか。

【こたえ】

(1) ア

(2) えんそく

【かいせつ】

(1) は 雨が すこし ふって きた ようすを あらわす ことばが 入ります。

(2) は 文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

よるに なって おとうさんが かえって きました。おとうさんは、

「とちゅうで ぽつぽつと 雨が ふって きたよ。」  
と いいました。

雨が ふって きたと きいて、ぼくは てるてるぼうずを つくる ことに しました。

(2) あしたは えんそくです。どうか はれますように。

つぎの 文しょうぶんを よんで、といに こたえよう。

日本にほんぜんこくの 大おおきな まちを はしる、一いちばん はやい れつ車しゃは しんかんせんです。

しんかんせんには、「のぞみ」や「こだま」という 名なまえが ついて います。「こだま」よりも 「のぞみ」の ほうが うんと はやく はしれます。

ぼくは、なつ休やすみに あこがれの 「のぞみ」に のって おじいちゃんの いえに いきます。いまから  して います。

(1) しんかんせんの 名なまえを 二ふたつ みつけて かこう。

--	--

(2) 日本にほんぜんこくの 大おおきな まちを はしる、一いちばん はやい れつ車しゃは なんですか。

--

(3) 「のぞみ」と 「こだま」は どちらが はやいですか。

--

(4)  に 入はいる ことばを アから ウから えらぼう。

- ア わくわく
- イ ぶるぶる
- ウ じんじん

--

つぎの文しょうをよんで、といにこたえよう。

ぼくとおにいちゃんがこうえんにいったら、木の**はが** とおちてきました。

「この**はつぱ**を**あつめて**火をつけたら、**たき火**ができるよ。」

とおにいちゃんが**ぼく**におしえてくれました。ぼくとおにいちゃんは、**はつぱ**をいっしょうけんめい**あつめました**。そして**おかあさん**をよんで、みんな**たき火**を**しました**。

(1) **ぼく**とおにいちゃんは**どこ**に**いった**のですか。

(2) おにいちゃんが**ぼく**におしえてくれたことは**なん**ですか。 に**入**る**こと**ばをかこう。

を**あつめて**

を**つける**と

**が**できると**い**う**こ**と。

(3) に**入**る**こ**とばを**ア**から**ウ**から**え**ら**ぼ**う。

ア **ざ**あ**ざ**あ  
イ **ぽ**つ**ぽ**つ  
ウ **ひ**ら**ひ**ら

つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

日本<sup>にほん</sup>の れっ車<sup>しゃ</sup>の 中<sup>なか</sup>で、一<sup>いち</sup>ばん はやい れっ車は しんかんせんです。しんかんせんは はやいだけで なく、とても あんぜんです。

しんかんせんには、「のぞみ」や「こだま」という 名<sup>な</sup>まえが ついて います。「こだま」よりも 「のぞみ」の ほうが うんと はやく はしれます。

(1) 日本<sup>にほん</sup>の れっ車<sup>しゃ</sup>の 中<sup>なか</sup>で 一<sup>いち</sup>ばん はやい れっ車<sup>しゃ</sup>は なんですか。

(2) しんかんせんは どのような れっ車<sup>しゃ</sup>ですか。  
□に 入<sup>はい</sup>る ことばを かこう。

しんかんせんは

だけで なく、とても です。

(3) しんかんせんの 名<sup>な</sup>まえを 二<sup>ふた</sup>つ みつけて かこう。

つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

ぼくと おにいちゃんが こうえんに いくと、たくさんの はっぱが おちて いました。

「この はっぱを あつめて 火<sup>ひ</sup>をつけたら、たき火<sup>び</sup>が できるよ。」

と おにいちゃんが いったので、ぼくは しょうけんめい はっぱを あつめました。そして おかあさんを よんで、みんなで たき火をしました。からだ<sup>か</sup>が ぽかぽかに なりました。

(1) おにいちゃんが ぼくに おしえて くれたことは なんですか。 □ に 入<sup>はい</sup>る ことばをかこう。

を あつめて

を つけると

が できると いう こと。

(2) たき火をした 人は だれですか。 三人<sup>さんにん</sup>みつけて かこう。

--	--	--

(3) たき火を すると、からだは どんな ふうに なりましたか。

に なった。



つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

おこめは わたしたちの くらしに かかせない ものです。おこめは そのまま たべる だけでは なく、いろいろな ものに つかわれています。

、おだんごや おせんべいなどの おかし。すや みりんなどの ちようみりよう。ほかに は せっけんなどに つかわれる ばあいがあります。

おこめは、ずっと おかしから 日本<sup>にほん</sup>に あります。おかしの 人も おこめを たべて いたのです。

(1) おこめは どんな ものに つかわれて いますか。□に 入<sup>はい</sup>る ことばを かこう。

や

などの おかし。

や

などの ちようみりよう。ほかには

などに つかわれる

ばあいがあります。

(2) おこめは いつから 日本<sup>にほん</sup>に ありますか。

(3) □に 入<sup>はい</sup>る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア でも
- イ たとえば
- ウ だから



つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

おこめは いろいろな ものに つかわれて  
います。たとえば、おだんごや おせんべいなど  
の おかし。すや みりんなどの ちようみりよ  
う。ほかには せっけんなどに つかわれる ば  
あいが あります。

ですから、おこめは わたしたちの くらしに  
かかせません。おこめが ないと とても こまっ  
て しまいます。

(1) なぜ おこめは わたしたちの くらしに  
かかせないのでですか。□に 入<sup>はい</sup>る ことばを  
かこう。

おこめは

に

いるから。

(2) おこめは どんな ものに つかわれてい  
ますか。□に 入<sup>はい</sup>る ことばを かこう。

などの おかし。

や

などの ちようみりよう。ほかには

や

などに つかわれる

ばあいが あります。

(3) おこめが ないと わたしたちは どうなっ  
て しまいますか。

とても

しまう。



ならびかえクイズに ちよせん。

5

レベル

1 ひらがなを ならびかえ ことばを つくろい。

か し な は

おかし おかし から はじめる おはなし

--	--	--	--	--	--

き め ひ

ひんがしの うつたあしに くるね はなをから くる

--	--	--	--	--	--

け ち め

かたの はらの まわりかたの こと

--	--	--	--	--	--

く め ん

かみの はたかひを ぬきの かにに ぬい ぬい

--	--	--	--	--	--

め か め

からかんで おもしろい ぬきかた

--	--	--	--	--	--

う ゆ ち ん

ちよせんから せらめりたり

--	--	--	--	--	--